

参考資料

資生堂、「LINK OF LIFE さわる。ふれる。美の大実験室 展」を開催

資生堂は、2015年10月23日(金)から28日(水)まで、資生堂銀座ビル(東京都中央区)で展覧会「LINK OF LIFE さわる。ふれる。美の大実験室 展」を開催します。同展では「さわる」、「ふれる」といった「感触」をテーマにしたインスタレーションや映像、体験型の作品を含む20点以上の作品が展示されます。

日本語には様々な感触を表す言葉が存在しており、同じ言葉でも人によって捉え方が異なります。「さわる」、「ふれる」という身近な行為でありながら表現が難しい「感触」が同展のテーマです。出展作品は、資生堂リサーチセンターの研究者ら社員がクリエイティブディレクター藤原大氏(藤原大デザイン事務所)による監修のもと、教育機関、企業など30を超える異業種と共同で制作しました。資生堂の研究者と社外の多彩な職種・職能の方々が出会い(LINKし)、共同で新しい価値創造を目指し、「これからの美」のあり方を探ります。

資生堂は、2018年末に多様な人々との交流や融合によって新しい価値を生み出す新研究所「グローバルイノベーションセンター(仮称)」を、横浜・みなとみらい21地区に設立します。同展は新研究所設立へ向けた新しい研究開発のかたちの第一歩であり、サイエンスの知見とデザインが出会う(LINKする)ことで感触を視覚化することに挑戦したものです。資生堂は今後も多様な知の融合によって「これからの美」を生み出していきます。

作品例



作品「ガム茶道」

繊細な紙の容器に入ったガムを丁寧に取り扱い、形や色を眺め、香りを嗅ぎ、噛むという「茶道」に通じる一連の行為で、ガムの意外かつ新しい楽しみ方を提案する。

資生堂リサーチセンター、(株)浅野デザイン研究所、ヴェ・マン・フィス香料(株)による作品。



作品「パウダー ワールド」

ファンデーションに使われている、無重力級に軽い「中空パウダー」の不思議な動きを体感するインスタレーション。資生堂リサーチセンター、資生堂 PICK UP TECHNOLOGY 制作チーム、BBmedia Inc.による作品。

展示概要


名 称	「LINK OF LIFE さわる。ふれる。美の大実験室 展」
会 場	資生堂銀座ビル 花椿ホール・1F～3F（東京都中央区銀座 7-5-5）
会 期	2015 年 10 月 23 日（金）～28 日（水）の 6 日間 11:00～20:00（入場は 19:30 まで） ※入場無料 ※同ビル 1～2 階の関連展示「LIVE KARAKUSA（協力：（株）東京アールアンドデー）」、「IMAGINATION LAB.（協力：日本マイクロソフト（株）」は、10 月 13 日（火）～12 月 25 日（金）の平日 9:00～18:00（同展会期中の平日は 9:00～20:00、土日は 11:00～20:00）にご覧いただけます。
主 催	株式会社 資生堂
協 力	（株）浅野デザイン研究所、（社）イノベーション・デザイン・ラボ、ヴェ・マン・フィス香料（株）、お茶の水女子大学伊藤研究室、（株）国際電気通信基礎技術研究所（ATR）、東京おもちゃ美術館（NPO 法人日本グッド・トイ委員会）、日本科学未来館、BBmedia Inc.、フォスター電機（株）、（株）フジミック、三井化学（株）、（株）良品計画など 30 団体以上（順不同）
URL	http://www.shiseidogroup.jp/link/

主な展示作品

作品名	制作者	作品概要
ヒーリング マウスフォーム	資生堂リサーチセンター、（社）イノベーション・デザイン・ラボ	シャンプーや石けんなどの洗浄剤と、ビールやソフトクリームなどの食品では求められる泡触感がちがうのでしょうか？ 軽くて甘い泡の歯磨き剤があったとしたら？ 粉歯磨きしかなかった時代に資生堂は日本初の練り歯磨きを作りました。それから 120 余年。未来の歯磨き剤にイノベーションが起こるかもしれません。
きめの音楽	資生堂リサーチセンター、お茶の水女子大学伊藤研究室、（株）フジミック、（株）エイタブリッシュ	水分量が多いことが健康な状態であることを示す肌や野菜。肌分析に用いるカメラで野菜の水分を計ってみようという遊び心から生まれた、音楽でトマトのみずみずしさを知ることができるインスタレーションです。視覚でも触覚でもなく、聴覚で美しさやおいしさを伝えることを目指しました。
ハッピー ハッキング リップ	資生堂リサーチセンター、H2L Inc.	唇の感触をリアルに再現した唇型のデバイスです。裏側に配置したマイクがユーザの発話を検知し、連動して自然に動きます。唇をさわったときのしっとりとした柔らかさは、ちょっと不気味な感触です。
ガム茶道	資生堂リサーチセンター、（株）浅野デザイン研究所、ヴェ・マン・フィス香料（株）	「ガム茶道」は、繊細な紙の容器に収められたガムを丁寧にとりあつかい、形や色を眺め、香りを嗅いで楽しみ、記憶に触れながら噛むというものです。一連の行為を日本の伝統的な作法に重ねることで、ガムの意外かつ新しい楽しみ方を提案しています。

ゴルコンダ ドレッシング	資生堂リサーチセンター、(有)桐山製作所、モコメシ	ガラス瓶の中にはドレッシングの材料である酢やオイルが入っています。これを攪拌するとオイルの中を酢の滴が浮遊します。その様子をルネ・マグリットの絵画「ゴルコンダ」のイメージに見立て、粘度のある液体が生み出す世界をつくり出しました。はたして、酢の滴はオイルのなかで、山高帽の紳士たちのように浮遊するでしょうか？
ベビー スキン イヤホン	資生堂リサーチセンター、三井化学(株)、フォスター電機(株)、専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ、Hong Kong Design Institute	赤ちゃんの肌の触り心地を再現した極限まで柔らかいポリウレタン素材で作られたイヤホンパッド。その感触にインスパイアされアクセサリーとしてのイヤホンをデザインしました。この作品には、赤ちゃんの肌に触れたときの安らぎで満たされる気持ちを共有したいという思いが貫かれています。
ランゲージ	資生堂リサーチセンター、MATHRAX LLC、東京おもちゃ美術館(NPO法人日本グッド・トイ委員会)、資生堂 宣伝・デザイン部、資生堂 企業文化部、(株)ライゾマティクス	木製の動物オブジェに触れると香りが放出されます。空間に設置された動物オブジェに含ませた複数の香りが交わると、バラの香りが生まれます。音、光、映像が連動し、「触れる」行為が嗅覚・聴覚・視覚と結びつき、ひとつの言語(ランゲージ)となって様々なコミュニケーションを生み出します。
パウダー ワールド	資生堂リサーチセンター、PICK UP TECHNOLOGY 制作チーム、BBmedia Inc.	多くの人々が求める透明感のある肌を追求した結果、誕生した中空パウダー。文字どおり、粒の中が空洞になっているために、光の反射を生みやすく、資生堂史上最も軽いので空中でダンスするかのように動きます。中空パウダーの不思議な動きを体感してください。
スマイル ライン	資生堂ビューティークリエーションセンター、(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、日本科学未来館、日建設計 NAD	この作品は、ほほえみが生まれる公共空間を実現することができれば、社会を本当の意味で豊かにするのではないかなという思いから構想しました。車両に乗り合わせた人がみんな笑顔になる。未来の地下鉄を体験できる作品です。
タッチ 24	(株)良品計画、資生堂リサーチセンター、sonihouse、evala	24時間、人は何にさわって暮らしているのでしょうか。ここでは50名の被験者が触れたものの平均値を割り出し、無印良品の素材や商品に置き換えて、1日(24時間)の素材を可視化しました。さらに、資生堂が開発した触動作センサー「HapLog」を使って素材の触感を数値化し、その波形をもとに素材が奏でる音楽を制作。触覚と聴覚で感じる空間インスタレーションとなっています。

展覧会ディレクター 藤原大氏について

略 歴	<p>神奈川県出身。1998年に三宅一生氏と「A-POC」プロジェクトをスタートさせる。ISSEY MIYAKE パリコレクション クリエイティブ・ディレクター、株式会社三宅デザイン事務所副社長などを歴任する。2009年より藤原大デザイン事務所を主宰し、サイエンスとものづくりをデザインでつなぐ活動を国内外で続けている。MUJI to GO ディレクター。国際観光フォーラム実行委員長。東京大学生産技術研究所研究員。多摩美術大学教授。2013年に「カラーハンティング展 色からはじめるデザイン」(21.21 DESIGN SIGHT、東京)の展覧会ディレクターを務めた。毎日デザイン大賞など受賞多数。</p>	
-----	--	---

[ご参考]

会期中に行われるイベント

ギャラリーツアー（資生堂銀座ビル内で資生堂リサーチセンター研究員らが作品を解説します）	
日時	10月23日(金)～28日(水) 平日 19:00～、土日 15:00～
集合場所	資生堂銀座ビル 1F エントランスホール
定員	各回 15名（事前申込不要、先着順）

クロストーク（作品制作者が対談形式で作品の見どころを解説します）	
日時	10月24日(土)17:00～18:00、10月25日(日)17:00～18:00
会場	資生堂銀座ビル 1F エントランスホール
定員	20名（事前申込不要、先着順）
テーマ	10月24日(土) 「こころの手触り《スマイル ライン》」、「音の手触り《タッチ 24》」
	10月25日(日) 「美の手触り《LINK OF LIFE I》」、「未来の手触り《ハッピー ハッキング リップ》」
登壇者	10月24日(土) 坂本隆之氏・安田啓紀氏(NIKKEN ACTIVITY DESIGN lab)、小川浩平氏(大阪大学)、石川智子(資生堂ビューティークリエイション研究センター)、大友聡氏(良品計画)、サウンドアーティスト evala 氏、川副智行(資生堂リサーチセンター)
	10月25日(日) アートディレクター Mote Sinabel Aoki 氏、田崎佑樹氏(WOW)、岡元美也子(資生堂ビューティークリエイション研究センター)、岩崎健一郎氏(H2L)、森雄一郎・齋藤直輝(資生堂リサーチセンター)

子どもから楽しめるミニワークショップ（科学技術館による対話型ワークショップ）	
日時	10月24日(土)14:00～15:00
テーマ	未来の化粧品はどのようなと思う？
対象	小学校3年生以上ならどなたでもご参加いただけます
会場	資生堂銀座ビル 2F
定員	20名（事前申込不要、先着順）
講師	科学技術館 西田雅美氏